



保育園と特養ホームの増設、市民の健康増進を求め一般質問

10日、一般質問の最終日。日本共産党市議団は、佐々木智子議員と佐藤洋子議員が一般質問をおこない、切実な市民要求をとりあげました。その要旨を紹介します。

市民の健康を守るため検診は無料に

部長の答弁 「健康を意識してもらおう」
ために有料化はつづける



佐々木とも子

市議は、市民の健康増進を図る健康診査事業の拡大をもとめて、特定保健指導の（メタボ健診）、特定保健指導の実施状況と受診率を質しました。いきいき健康部長は、特定保健指導を受ける人が減少しているとの指摘に、実施率向上対策が必要と認めました。

から運動セミナーや場所の拡大を検討している」との答弁でした。脳ドック助成については「引き続きつづき検討していく」。健康診査無料化への求めには、「健康を意識してもらおうため」と有料化に固執しました。

木曾・山崎団地のまちづくりは市民参加で

木曾山崎団地地域のまちづくりの進捗状況を質した質問には、政策経営部長から、「UR都市機構とまちづくりの協定書を結ん

だ。町田市、UR、東京都住宅供給公社との3者協議会を設立し、これからのまちづくりを検討していく。地元2千人にアンケートを郵送し、その意見を反映させていく」と答弁。地区計画策定までのタイムスケジュールは、「できるだけ迅速に」としか答えませんでした。

福祉とくらしいちばんの町田市に

見解へ待機解消 「公有地も活用してどんどん保育園をつくっていききたい」



佐藤よう子

子市議は「福祉とくらしいちばんの町田市に」と市長に求めました。「子育てするなら町田市で」では、政府がすすめる「子ども・子育て新システム」が目指す保育の市場化、子ども園構想について市の見解を質しましたが、「都からようやく資料が示された」ということで、まだ具体的にはわからな

「老後安心の町田市に」では、特養ホーム増設は第5次介護計画の中で検討。高齢者見守りネットワークはさらに広げていくと答弁しました。磁器ループの施設窓口普及は、他市の状況も参考にしながら研究すると答弁。また、介護保険料の値上げはやむなしとの考えを示しました。

介護保険料の「値上げ」やむなし

また、待機児解消のために国有地など公有地活用を求めた質問には「公有地も活用してどんどん保育園をつくって

本会議と委員会で予算と条例の審査がおこなわれます

本会議質疑

3月11日(金)
10時開会

- 総務、健康福祉常任委員会
3月14日(月) 15日(火)
- 文教社会、建設常任委員会
3月16日(水) 17日(木)

市議会議員(3期) 佐藤よう子

考えはいつさい聞かれず、担当部長からの答弁でした。

検索

